

# ちばしゅ通信 (Vol. 6)

私たちが大事にしてきたこと…  
各拠点への思い (part 3)

前号に続き、当法人の拠点づくりやサービスづくりへの思いや考えに関して、本号では、「街かど福祉相談室るると」の開設と取り組みをお伝えしていきたいと思えます。



## 「宅老所の実践から生み出された、 相談支援を目指して…」

当法人ではこれまで、ケアの機能の一つとして“相談支援”を位置づけ、ケア拠点を中心とした生活圏域での相談支援と本人の“あるべき暮らし”を中心に据えた相談支援を行ってきました。

しかし、ケア拠点型の相談支援だけでは、取りこぼしてしまうことや、本人の状況に合わせた動きと支援がしにくいこと、相談支援ニーズの増大、障害者総合支援法に基づく相談支援充実の要望もあり、相談支援を専門に行う拠点を、平成 24 年 4 月に開所しました。

名称は、「街かど福祉相談室るると」。

「地域(生活圏域程度)の福祉に関する、なんでも相談室になりたい!」という思いと、本人や地域と長く関わり、本人の必要に応じて、タイムリーに支援したいという思いから名づけました。

はじめは、鶺鴒の家にその事務所を設置し、平成 25 年 4 月より、「サポートセンタースピリッツ」と同じ場所に設置しました。

開設にあたっては、できるだけ気軽に相談できる雰囲気づくり・環境づくりに心がけると共に、“生活のしづらさ”を感じている誰もが相談できること、24 時間 365 日の相談支援体制を整備しました。

また、従来のケア拠点型のよさを取り入れ、相談を受け・つなぐということだけでなく、必要に応じてケアできることも大事にしました。

高齢者・障害者・児童・生活困窮者等の各分野でも、当事者を自宅や地域の中で支えるという実践や政策が進む中、地域で「本人らしく暮らす」ということをより進めるためには、従来のケアと相談支援の間、のりしろ部分ぐらいにある相談支援機能が必要なのだと、先達の実践や鶺鴒の家等での実践から実感したからです。

現在、るるとは、東金市を中心とした障害児者の指定相談支援事業に基づく、相談支援に追われている毎日ですが、一步一步目標に向けた取り組みを進めていきたいと考えています。





東金といえば…。横浜出身で、現在は木更津に在住している僕には、ピンと来るものはなく、振り絞ってひらめいたのは、あっ、そういえばイチゴがおいしかったなあということでした。そんな僕が、東金を活動拠点とする我がちば地域生活支援舎を知ったのは、法人を立ち上げての活動後、しばらく経ってからのことでした。きっかけは、以前理事長をされていた宮城県在住の池田さんから、東金でも活動を始めたんだということ、どこかしらで聞いてのことだと思のですが、当時、木更津での自分の活動に精一杯であったため、そうなんだあと軽く頷いたぐらいの感じであったのではと思います。それから数年、制度の種別にとらわれない支援の輪を広げて行こうというイベントなどで、たびたび一緒になる機会を持つこととなり、気がつけば、千葉県内で同じ思いを持って活動を広げて行こうとする仲間となっていました。そして、これからの福祉を語り合う、そんな自然の流れの中で、理事として活動に参加させていただくこととなっていました。

実際に、当法人の活動に触れるようになってからというもの、その情熱に強い刺激を受けると同時に、具体的な活動実践には驚かされるばかりでした。制度外の高齢・障害支援に始まり、障害当事者の就労支援、子供たちの放課後支援、要介護高齢者の住まいの支援、様々な相談支援、次々と地域に必要な支援を作り上げて行きました。夏休みの溢れかえるほどの子供たちでにぎわう様子は、同じ福祉を仕事とする者として、羨ましくもあり、また、その場を共にする高齢者の笑顔を見ては、素敵な瞬間に立ち会わせてもらっている喜びを分かち合わせてもらいました。

そうした活動の一方で、特に驚かされたのは、スタッフひとりひとりの東金地域での住民活動です。消防団に加入し、様々な地域の祭り事にも積極的に参加して、事業所としてだけでなく、まさに東金市民の一員として、町の活性化に関わっています。横浜から木更津へ、地域福祉を仕事として転居してきながら、地域住民としては何もできていなかった自分を痛感させられました。今となっては、我が法人の素晴らしいスタッフなんだと胸を張らせていただく側におりますが、本当に心強く、スタッフには頭が下がるばかりです。こうした仲間たちとともに、東金市の、いや、千葉県全体の福祉を考えていけることは、この上ない喜びです。僕自身は、木更津から、月に一度足を運ぶぐらいのことしかできていないのですが、これからも未長く、ちば地域生活支援舎の一員として、関わらせていただきたくこの紙面を借りて、お願いしたいと思います。東金のみなさん、ちば舎のみなさん、「どうぞ、よろしく願いいたしま〜す！！」

伊藤 英樹(理事/特定非営利活動法人井戸端介護 理事長)

## 【ときがねフォーラム・ステージ企画出演者・紹介(全4回/2回目)】

### つばさ太鼓



つばさ太鼓は知的障害者のチームです。「表に出る一歩になれば」「趣味として長く楽しめれば」との思いから2002年4月に結成。そして太鼓を通して外の世界へ羽ばたいて行けたらという思いを込めて「つばさ太鼓」と命名。月に2~3回、満面の笑みで曲に乗って楽しく練習をしている。

### 腹話術・斎藤和文 さん



1960年千葉県東金市生まれ。マギー伸司・いっこく堂・グッチ裕三・綾小路きみまろなどに私淑し、独学でマジック・腹話術・ユーモアトークを体得、自ら「夢職人」を名乗り、マジックや腹話術をとり入れた画期的な「にっこり健康・生涯現役セミナー」を全国各地で精力的に講演中



## 【各種イベント & 活動情報】

### SANBO100号記念パーティのお知らせ

日時 6月6日(土) 18:00~  
(受付は、17:30)  
場所 蓬莱閣(ほうらいかく)  
(※東金駅東口徒歩10分)  
参加費 一人5,000円  
申込先 0475-54-0143(土肥)

### 特別企画「見せます SANBO」 貴重な創刊号から最新号まで一挙公開

期間 4月1日~5月29日  
(土日は休み。祝日は可)  
時間 9:00~17:30  
場所 ハンドワークありさ  
(※東金駅西口徒歩2分)  
電話 0475-50-0362

## 【平成27年4月1日入職の職員 紹介】



4月から、かねてよりご縁のあった当法人にて、新たな社会のスタートをさせて頂きました。  
若い世代の方々が多い中で、刺激を頂きながら少しずつ、頑張りたいと思います。

齊藤 操 (さいとう みさお)



祖父が脳梗塞により在宅介護になったことから介護士になろうと決めました。お年寄りの皆さんに顔と名前を覚えて頂き、安心して安全な介護を実践していきたいと思います。

臼田 直生 (うすだ なおき)



4月からハンドワークでお世話になっています。  
まだ分からないことばかりで至らない点が多々ありますが、ご指導のほうよろしく願います。

鈴木麻菜美 (すずき まなみ)



4月より鶺鴒の家に配属になりました。まだまだ未熟者ですが、少しでも早く慣れることができるよう頑張りたいと思います。  
よろしくお願い致します。

糸日谷友希 (いとひや ゆき)



今年度入社した松本真菜美です。利用者の方々やスタッフの皆さんに信頼されるようなスタッフになりたいと思います。

松本真菜美 (まつもと まなみ)



4月から、鶺鴒の家とぼけっとで働く事になりました。わからない事だらけで日々勉強ですが、子ども達の笑顔にすくわれています。これから、たくさん子ども達と生活をし成長を見届けられたらと思います。

伊地知美保 (いじち みほ)

## 【法人内の各事業所から】

### 鶺嶺の家（高齢者・障がい者）

先日、八鶴湖に桜を見に行きました。屋台で唐揚げや今川焼を食べたり、水面をじーっと見つめていたりと様々に花見を楽しみました。桜をバックに記念写真も撮ってきました。今年は歩ける利用者さんが車イスの利用者さんを押して歩いてくれたので皆で行くことができ良かったです。

### 子ども支援センターぽけっと

ぽけっとでは新しいお友達が増え、おもちゃを探しています。たとえばリカちゃん人形・おままごと・プラレールの電車などご家庭で不要になったものがありましたらご協力頂けると助かります（● ^ 〇 ^ ●）

### 街かど福祉相談室ると

新年度が始まりました。異動の報告や新担当の紹介等で慌ただしくなる時期ですね。計画相談は3年間の移行期間を経て、今年度よりサービスを利用する方全員に計画書が必要となります。昨年度よりお待ちいただいている方もまだいらっしゃいます。ご迷惑をおかけしておりますが、順次作成していきますのでよろしくお願い致します。

### ありさ

桜まつりに合わせて実施した“ランチ day”は、おかげさまで成果が見えた4日間でした。段々動きが良くなる皆を見ながら、私たちもいい勉強になりました。普段より体を使ったので、皆疲れた様子でしたがそれぞれ精一杯働いていました。そんな忙しい中でしたが、八鶴湖のお花見に行ってきました(^◇^)/とっても綺麗でした!!花よりダゾの人もいたみたいですが…(^▽^)

### 五根の家・グループホーム

開所当初よりご入居されておりました99歳の方が3月23日にご逝去されました。最期の数日間は大切なご家族に寄り添われて、ご家族と共に、他のお年寄りやスタッフみなでお見送りを致しました。五根の家一番のご長寿で天寿を全うされたと思っています。スタッフ一同心よりご冥福をお祈り致します。

### 鶺嶺の家（児童）

鶺嶺児童に4才5才の姉弟が新しく仲間入りしました。弟くんは大人の言葉をよく聞いていて、お姉ちゃんが悪い事をするとう「〇〇だめだよ。わかった？」と大人の様な口調で注意し、お姉ちゃん「はい。」と弟くんの言う事を聞いています。お姉ちゃん、大人の言う事も聞いて…(ノ口)・°・。

### サポートセンタースピリッツ

新年度が始まりました。スピリッツでは、なるべく皆さんの声にお応えできるよう頑張ってお参りたいと思います。年度末に資格をとった当法人内別事業所職員も、他の事業所と兼務でスピリッツのヘルパーとして伺うことになると思いますので、新しいヘルパーが伺う際は、温かく見守って頂ければと思います。今年度も宜しくお願い致します。

### ハンドワーク

ハンドワークでは、エコクラフトで作ったバックやカゴなどを販売しています。思い思いの色を使って、少しでも丈夫で長く使ってもらえるように作ったエコクラフト、お見かけの際はぜひ手に取ってみてください！

### かばの家

いちごあんパンは終わりましたが、桜あんパンを始めました。桜の香りがたまりません。ぜひ、食べてみてくださいね(\*^-^\*)  
イオンモール幕張新都心へ行ってきました。とても楽しい一日を過ごしてきました。

### 五根の家・小規模多機能ホーム

4月2日に94歳の方がご逝去されました。暫く入院されておりましたが、4月1日に五根の家に来られ、ご家族やスタッフに見守られての最期でした。ご出棺までの間、みなでお焼香をしてお別れとお見送りを致しました。スタッフ一同心よりご冥福をお祈り致します。



### ちばしゃ通信 (Vol6)

発行日：2015年4月19日  
発行元：ちば地域生活支援舎  
編集責任者：宮下・太齋  
連絡先：0475-53-3630

### 編集者のつぶやき

・“福祉と介護”に関わる仕事を始めて20年！思えば、あっという間であった。思いが空回りして、怒られることや、ほされることもあった。でも、その時信じた事をとにかく一所懸命やってきた。職場の中・外共に多くの人に出会い、支えられてきた。新卒の皆さん頑張ってください(Jerry)  
・4月になっても寒い日が続いていますね。夏バテならぬ春バテが流行っているみたいなので皆さんも気を付けてお過ごしください。(W)